



# 玉名ロータリークラブ週報

2017  
?  
2018



ロータリー：  
変化をもたらす

R I 会長	■	イアン H. S. ライズリー
地区ガバナー	■	永田 壮一
会長	■	吉永 博之
幹事	■	渡辺 太朗
公共イメージ向上・IT委員長	■	西嶋 太興

例会日 ■ 毎週木曜日 / PM12:30~13:30

例会場 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 50-1 司ロイヤルホテル内  
TEL (0968) 73-8888 FAX (0968) 73-8008

事務所 ■ 〒865-0061 熊本県玉名市立願寺 540-1-102  
TEL (0968) 73-3399 FAX (0968) 74-3939

平成 29 年 11 月 9 日 No.2365

玉名 RC メールアドレス [jimu@tamanarc.org](mailto:jimu@tamanarc.org)

ホームページ <http://www.tamanarc.org/>

## 【来訪者紹介】 吉永会長

玉名ローターアクトクラブ副幹事 鶴田結香様

## 【新入会員入会式】 前田貴輝様

皆さんこんにちは、前田貴輝(よしてる)と申します。職業分類は「小児科医」です。以前玉名中央 RC に3年在籍してました。その後退会して3年経ちました。いろいろ想うところがありますが、今回玉名 RC にお世話になろうかと思いました。よろしくお願ひします。



## 【会長の時間】 吉永会長

11月は「ロータリー財団月間」です。

すでに2720地区のたくさんのクラブが地区補助金を利用して地域社会へ様々な活動に利用されています。その額は年間およそ700万円に上ります。

また地区補助金の他にグローバル補助金がありこれは15000ドル以上の高額な補助金で6つの重点分野のいずれかにおいて、持続可能な大規模なプロジェクトに活用できます。



今回はクラブ内のロータリー財団委員会は何をするところか、何をすれば良いのかについてお話ししたいと思います。簡単に言いますとクラブ・ロータリー財団委員会の役割は、補助金プロジェクトへの参加と寄付を通じて財団を支援する計画を立案し、実施することです。次年度のロータリー財団委員長は年度末に次年度の委員会を招集し、前年度の期中に締結された「MOU クラブの覚書」を確認し、地区補助金を使ったプロジェクトが立案され地区からの承認が下りているか、をまず確認しておきます。

その上で、

- 1) 次年度のクラブ財団目標を達成するための委員会目標を立てます。
- 2) 財団に関しての会員の教育を行います。
- 3) 財団補助金プロジェクトや活動への参加を呼びかけ、促進する。
- 4) クラブがロータリー財団の補助金を申請するための資格を満たし、補助金の資金管理システムを設けていることを確認する。
- 5) 財団に焦点を当てた例会プログラムを少なくとも年4回実施する。このプログラムは、感動や意欲を与えるようなものとする。
- 6) 例会やクラブ行事で講演できるロータリー財団の学友や元ボランティアを探すために、地区ロータリー財団委員長や委員と連絡を取る。
- 7) 奉仕プロジェクト委員会と協力し、クラブの代表的なプロジェクトを企画する。このプロジェクトは、持続可能な成果がもたらされるようなものとする。

以上の7つの項目がクラブ・ロータリー財団委員会の仕事となります。1年間を通して、クラブが財団の補助金を使ってどのような奉仕活動をしていくのかを決める、大事な奉仕の舵取り役を果たすのがロータリー財団委員長と言っても過言ではありません。活性化した効果的なロータリークラブを作るための足がかりとなるようにクラブ内の多くのロータリアンとコミュニケーションを取りましょう。

ロータリー財団委員会の最後の仕事はロータリアンに寄付をお願いすることです。ロータリー財団はロータリアンと支援者による自発的な寄付のみに支えられています。クラブのロータリアンにロータリー財団を理解していただき、少しでも多くの寄付をしていただくようお願いしてください。そうすれば地区の補助金も増加し、より効果的な奉仕活動が多く生まれるのではないのでしょうか。

## 【幹事報告】 渡邊幹事

○第 69 回金栗杯玉名ハーフマラソン大会の後援の依頼が来ています。

開会式：3月4日（日）8：30～（雨天決行）

○熊本県青少年育成県民会議会より、

「のびのびユースネットくまもと～青少年くまもと第 78 号～」が来ています。

○TNK 東日観光（株）より 2018 国際ロータリー年次大会（トロント大会）参加旅行  
募集案内送付の案内が来ています。

○人吉 RC60 周年史発刊及びお礼が来ています。

## 【委員会報告】

### ○社会奉仕委員会 田中委員長

繁根木神社でのチャリティバザーはお疲れ様でした。バザーの売上が 147,690 円でした。ここから冬月会の昼食代と御礼代、テント机椅子を松本学園さん借用代、渡邊幹事から運搬車ガソリン代、その結果残が 84,090 円となりました。これらはインターアクトへのポリオ寄付金をも含めて当委員会で決めさせていただきます。たいへんお世話になりました、ありがとうございました。

### ○渡邊幹事

11 日土曜日に阿蘇 RC 50 周年記念祝賀会があります。我が玉名からは 8 名参加します。当日は朝 8 時に司チャペルさん駐車場に集合となります。祝賀会は 15 時半に終わる予定ですので、夕方には玉名へ帰ってこれると思います。よろしくお祈りします。

### ○R 財団委員会 村上委員長

16 日の例会が財団のセミナーとなってましたがクラブ協議会に変更します。昨年玉名 RC の 50 週年来ていただいた韓国の馬山 RC さんですが、来年で姉妹締結 35 周年となります。そこで来週はクラブフォーラムとして、35 年にわたる姉妹提携について皆さんの意見をもらいたいと考えます。よろしくお祈りします。

## 【スマイル報告】 河田委員長

吉永会長・渡邊幹事・・・玉名 RAC 鶴田様のご来訪心から歓迎します。前田貴輝様入会歓迎します。

志賀さん・・・玉名 RAC 鶴田様のご来訪心から歓迎します。前田貴輝様入会歓迎します。

古賀さん・・・玉名 RAC 鶴田結香様の年次報告ありがとうございます。欠席します。申し訳ありません。

山田司さん・吉岡さん・鶴田さん・本田さん・田中さん・小山さん・・・玉名 RAC 鶴田結香さんの活動  
報告よろしくお祈りします。

山口さん・・・前田様入会を心から歓迎致します。

高木幸さん・・・前田貴輝様の入会を心から歓迎致します。

中嶋さん・・・前田貴輝様の入会を心から歓迎致します。

松崎さん・深見さん・河田さん・堀本さん・・・前田貴輝様の入会を心から歓迎致します

玉名 RAC 鶴田結香様の年次報告ありがとうございます。

田畑さん・田原さん・小篠さん・・・前田貴輝様の入会を心から歓迎致します。玉名 RAC 鶴田結香様の年次報告ありがとうございます。

村上さん・高木孝さん・・・玉名 RAC 鶴田結香様の年次報告ありがとうございます

新会員前田貴輝様の入会を心から歓迎致します。

山田邦さん・・・ 新会員前田貴輝様どうぞよろしく申し上げます心から歓迎致します。

前回までの累計	¥313, 000
今 回	¥ 24, 000
合 計	¥337, 000

### 【出席報告】河田委員長

本日の出席	会員数	50 (44) 名	欠席者	嫩 浜田 廣田 井上 古賀 村田
	出席数	29 名		前島 野田 坂梨 瀧川 浦田
	出席率	65.91%		上村 上田継 吉田 山村
前回の出席	前回出席数	30 名	前回のメイクアップ	
	修正出席数	30 名		
	修正出席率	68.18%		
出席規定適用免除者		8名		

### 【今後のプログラム予定】

クラブ協議会（テーマ）韓国馬山 RC との姉妹クラブについて

## 【卓話】玉名ローターアクトクラブ副幹事 鶴田結香様

玉名ローターアクトクラブ副幹事の鶴田結香と申します。先月10月に参加してまいりましたローターアクト年次大会についてのご報告を始めたいと思います。10月7日土曜日から8日日曜日の2日間、八代ハーモニーホールとセレクトロイヤルホテルで開催されました。玉名 RAC の富田・吉田・鶴田の3名で参加をさせていただきました。この年次大会の他にはアクトの森清掃活動や留学生交流会、地区RA研修会などがあります。他の地区では名称を「地区大会」などとしているところもあるようですが、ローターアクトであればどの地区においても開催される行事となります。

今回の大会のテーマは「感」でした。「感」という文字は「物事に接して生ずる心の動き。感じ。」という意味になるそうです。人は同じ物事に対しても各個人で違った感じ方をするもので、それはローターアクト会員同士や伴う活動でも同じだと言えます。今大会のホストクラブである八代ローターアクトクラブでは立場や経験の異なる一人ひとりが集まることで、多くのことを経験し、五感で感じてほしいという思いからこのテーマとしたそうです。



初日は元プロ野球福岡ソフトバンクホークスの松中信彦さんによる基調講演を拝聴しました。平成の三冠王と呼ばれた松中さんですので名前を聞いたことがないという人が居ないくらい有名な方だとは思いますが。熊本県八代市出身で当時の八代第一高校（現在は名前が変わり、秀岳館高校です）を卒業され1996年に福岡ダイエーホークスにドラフト2位で入団され、2004年には年間打率、打点、本塁打全て全選手の中で一位となる三冠王になれるなど目覚ましい活躍を多くあげ2016年に惜しまれながら現役を引退されました。基調講演はローターアクター3名と松中さんのパネルディスカッション形式で行われました。アクターからの質問に松中さんが自らの経験を元にその場で回答をしていただくというものです。

**質問：**プレッシャーに打ち勝つにはどうすればいいでしょうか。

**答え：**19年間プロとして野球をプレーしてきてプレッシャーはかなりのものがありました。

しかし失敗イコール駄目ではなく失敗から何を学び反省し、次の行動につなげるかが大事だと考えてきました。そして失敗をしても「いつかは」という気持ちで望んでいました。プレッシャーに打ち勝とうとすることで次第に精神力も備わっていきました。3割打つ選手も7割は失敗しているのです。成功するにも多くの失敗がつきもの。だからこそ消極的にならずに向かっていくことが大事です。

**質問：**チームのモチベーションの維持をどうしていましたか？

**答え：**会社には社長がいて部下がいます。組織にはリーダーがいてメンバーがいます。リーダーの考えが下にも伝わっているかが大事になります。組織全体が同じ方向を向いていなければモチベーションも上がらないし成果も出ません。野球で例えれば、「優勝したい、こういう野球をしたい」という目標があれば「じゃあ、どうしていくか」を監督が選手達と対話を重ね、そこから行動に移していくことが大切だと思います。球団ではミーティングを大事にしており、対話を重ねること、チームで同じ方向を向いていました。だからこそ結束力は高かったし、優勝もすることができたのだと思います。

**質問：**何が松中さんをここまで突き動かしてきたのでしょうか。なぜ本気になれたのか。

**答え：**「楽しいから」この一言に尽きます。楽しいから頑張れたし楽しいからもっとうまくなろうと思えました。自分のしていることを好きになること、これが大事になってきます。ホームランを打った後のゆっくりとベースをまわるあの瞬間、ホームランを打ったらきっと気持ちがいいだろうなあいつも考えていました。好きなものを持つこと自体が本気につながる糸口だと思います。

**質問：**努力の仕方を教えてください。

**答え：**続けられることを早く見つけそれを夢中でやることです。好きなこと得意なことをどんどんする、自分にできることをどんどん伸ばすのです。苦手の克服も大事なことでありますが長所や自分の個性を伸ばすことも大事ですよ。

松中さんが野球人生のなかで築き上げたノウハウは、次世代のリーダー育成を目的とするローターアクトにおいても通ずるものが沢山ありました。自分たちの活躍する場は球場ではありませんが、それぞれの得意とする各分野で努力をしていきたいと思っています。

## 【基調講演】 講師 松中 信彦様



2日目はメインプログラムでした。大会テーマは「感」でしたので五感を使う内容でした。一班7~8人で構成されており、味覚・嗅覚、視覚、触覚、聴覚、直感のそれぞれのミニゲームをクリアしていくというものでした。

視覚のテーマでは間違い探しでしたが  
ただの間違い探しではなく A と B の絵  
を見比べることは禁止されており、一つ  
の班メンバーは二手に別れ糸電話を利用  
して自分たちが見た A と B の絵をお互い  
に口頭で伝え、伝わった情報をもとに違  
いを探すというものでした。

自分が見ているものを客観的かつ正確に  
伝えるということはなかなか難しく的確  
に言い表せていると思っていたことも相

手には別の捉え方をされており答え合わせのときに全く別の回答になっていることもありました。いかに言葉だけのコミュニケーションが難しいかを理解するとともに共通した見解を得るためにはしっかりと対話が必要であることがわかりました。



玉名ローターアクトクラブは5年目を迎えています。これまでにメンバーの代替わりや入れ替わりや会員減少の危機もありました。その際にはロータリークラブの皆様のお支えをいただき、法人会員の方の加入なども加わってここまで続けてこられました。その中でも経験者から新入会員までバランスよく構成されているのは変わらない玉名の強み、良い点かと思っています。



ローターアクトクラブとして成熟してきた段階で次に求められるのはさらなる成長だと思っています。これからも会員増強を図りながら職種や年齢も違う人材を上手に生かして、質の高い例会づくりを行い、地区行事だけでなく他クラブの例会へ積極的に参加させていただき、それらの良い刺激を糧としながらクラブとしても各会員としてもより成長していければと思います。日頃からの玉名ローターアクトクラブへの様々なご支援にも重ねて感謝を申し上げこれにてご報告を終わらせていただきます。

